



A 試合会場レポート

試合番号 **982**

開催日 **2018/12/22**

平成30年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 女子 ファイナルラウンド

会場：大田区総合体育館

観客数： 1,500	開始時間： 18:35	終了時間： 20:20	試合時間： 01:45	主審： 澤 達大	副審： 種元 桂子
------------	-------------	-------------	-------------	----------	-----------

トヨタ車体クインシーズ



監督：多治見 麻子
コーチ：印東 玄彰

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

3	13	第1セット 【 00:19 】	25	1
	25	第2セット 【 00:24 】	18	
	25	第3セット 【 00:25 】	23	
	25	第4セット 【 00:28 】	21	
		第5セット 【 】		

ポイント 【】内はセット時間 ポイント
- ()内は交代選手 -

埼玉上尾メディックス



監督：吉田 敏明
コーチ：有田 沙織

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

<監督コメント>

相手の強力な外国籍選手と勢いのあるアウトサイドヒッターをいかにして迎撃するかが鍵となる準決勝となった。
埼玉上尾の素晴らしい粘りと私達の怒濤の攻めの応酬で見ごたえのあるゲームをお届けできたのではないかな。
明日は待ちに待ったファイナルです。挑戦者として皇后杯を掴めるようチーム一丸となり、特別な1日を楽しみます。
熱い応援よろしく願いいたします。

<監督コメント>

皇后杯初の準決勝、相手は連覇を狙うチームでしたので、挑戦者の気持ちを強く持ち試合に臨みました。選手は全力を尽くしましたが、勝敗の分かれ目は第3セット終盤に先にブレイクできなかったことでしょう。
ただ、大会を通してラリー中に粘り強さが出たこと、セッターが安定してきたことなど、チームとしての大きな収穫があったことも事実です。こういったことを今後も継続していきたいと思います。もうひとつ上に行くには何が足りないのか？チーム全体で明確にして前に進みたいと思います。
本日は多くのご声援、本当にありがとうございました。

13	高橋	ネリマン	第1セット	シュシュニャル	サンティアゴ	25
	()	()		()	()	
	渡邊	荒木		堀江	吉野	
	()	()		()	()	
	山上	内瀬戸		青柳	井上	
	(比金)	()		()	()	
リベロ： 榊原 佐藤 リベロ： 山岸						
25	ネリマン	荒木	第2セット	シュシュニャル	サンティアゴ	18
	()	()		()	(大室)	
	高橋	内瀬戸		堀江	吉野	
	()	()		(荒木)	(椎名)	
	渡邊	比金		青柳	井上	
	()	()		()	()	
リベロ： 榊原 佐藤 リベロ： 山岸						
25	荒木	内瀬戸	第3セット	シュシュニャル	サンティアゴ	23
	()	()		(山崎)	()	
	ネリマン	比金		堀江	吉野	
	()	()		()	()	
	高橋	渡邊		青柳	井上	
	()	()		()	(三浦)	
リベロ： 榊原 佐藤 リベロ： 山岸						
25	ネリマン	荒木	第4セット	サンティアゴ	吉野	21
	()	()		()	()	
	高橋	内瀬戸		シュシュニャル	井上	
	()	()		()	(三浦)	
	渡邊	比金		堀江	青柳	
	()	()		(大室)	()	
リベロ： 榊原 佐藤 リベロ： 山岸						
			第5セット			
	()	()		()	()	
	()	()		()	()	
	()	()		()	()	
リベロ： リベロ：						

<要約レポート>

二連覇を狙うトヨタ車体クインシーズと、埼玉上尾メディックスの準決勝。
第1セット、埼玉上尾はシュシュニャル、井上のサーブで相手を崩し連続得点をあげてリードすると、終盤、吉野のサーブで崩し、4連続得点をあげて大差でセットを先取する。
第2セット、トヨタ車体はセッターを比金に代え、スタートすると、その起用に応えサービスエースで連続得点しリードする。更に内瀬戸がサーブで相手を崩し、荒木、ネリマンの攻撃、高橋のブロックでリードを広げ、再び比金のサーブの場面で5連続得点をあげ、セットを取り返す。
第3セット、埼玉上尾は堀江が2本のサービスエースをあげて5連続得点でリードする。トヨタ車体は榊原、高橋、佐藤を中心に粘り強くレシーブをつなぎネリマンの攻撃で迫り、渡邊、高橋、比金のブロックで逆転する。負けじと埼玉上尾も、山岸の献身的なレシーブをサンティアゴが攻撃を決め、吉野のサービスエース、サンティアゴのブロックで同点に追いつく。両者の我慢比べの最後はトヨタ車体がネリマンの連続攻撃でセットを連取する。
第4セット中盤、トヨタ車体は荒木のブロックから優位にゲームを進めると、ネリマンの攻撃と荒木のブロックで4連続得点でリードし、終盤を迎える。埼玉上尾は青柳、堀江、三浦の攻撃で連続得点し迫るが、最後はネリマンが攻撃を決めて、トヨタ車体が決勝進出を決めた。

作成者：高澤 佳江